JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

## 伝統の小菊　出荷最盛

シャッターチャンス

ＪＡはだの管内で、９月の彼岸に合わせて小菊の出荷が最盛を迎えた。花き部会露地部の部員らは良質な小菊を仕上げ、連日の出荷作業に励んでいる。

秦野の小菊は、葉タバコ栽培で培った土づくりの技を受け継ぐ伝統の特産品。花持ちが良く、品質の高さはそのまま市場や消費者からの高い評価につながっている。

柳川賢治部長は「今年も部員が頑張った成果が表れ、良い小菊ができた。今後も、秦野の小菊は品質の高さで他産地と勝負していく」と意気込む。

箱詰め作業が進む色鮮やかな小菊

## 上半期の活動を報告　秋の座談会に出席を

**9月29日～10月12日**

秋の座談会を9月29日（木）～10月12日（水）に、市内83会場で開催します。

内容は2016年度上半期活動報告について、ＪＡはだの目已改革の状況などです。組合員の意見・要望をＪＡ運営に反映するため、1人でも多くの出席をお願いします。

## 相互の発展へ協力誓い合う　がっちり友好協定

### ＪＡ東西しらかわ（福島県）・ＪＡにじ（福岡県）と調印

ＪＡはだのは、福島県のＪＡ東西しらかわ、福岡県のＪＡにじと「友好ＪＡ協定」「災害時相互支援に関する協定」を結んだ。8月23日にＪＡ東西しらかわ、7日にはＪＡにじとの調印式を開催。各ＪＡの組合長が協定書に調印し、今後の協力を誓い合った。

「友好協定」は、組合員の営農や生活環境の向上、相互の組合経営の安定などを目的に締結。今後は、継続的に役職員研修などの人的交流を図る他、運営する農産物直売所でそれぞれの特産物などを販売する方針だ。

「災害時相互支援に関する協定」は、大規模災害時の応急対策や復旧・復興を総合的に支援することなどを取り決めたもの。食料や飲料水、生活必需品の供給に加え、被災者の一時受け入れに取り組むことなどを盛り込んでいる。

ＪＡ東西しらかわは、農産物直売所「みりょく満点物語」や植物工場「みりょく満点やさいの家」「肉用牛繁殖モデル農場」などを運営し、管内では米や肉牛などの生産が盛ん。ＪＡにじは、農産物直売所「にじの耳納の里」を運営し、柿やブドウなどの果樹を中心に多くの農産物を取り扱っている。両ＪＡとも、農業活性化に向けて積極的に取り組む先進的なＪＡだ。

ＪＡはだのは協定を結んだ両ＪＡと、これまでも互いに役員研修を受け入れるなど、交流を深めてきた。2011年の東日本大震災の際は、ＪＡはだのが福島県の被害状況を現地確認するなど、災害時にも協力する下地ができていた。

山口政雄組合長は「協定の締結をきっかけに、相互の営農技術の向上などにつなげていきたい」と意気込みを語った。

協定書を手にするＪＡ東西しらかわの薄葉功組合長と山口組合長

ＪＡにじの川原文次組合長と固い握手を交わした

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

### メール情報配信サービス　QRコードで登録を

ＪＡはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードを読み取り、簡単な手続きを進めるだけで登録できます。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

### 今月の特集　4～5面

「次世代との共生」進める

「次世代との共生」に取り組むＪＡはだのは、地域の若者や子どもたちを対象とした農作業体験や料理教室などを開いている。





# 秦野産の魅力　広く発信

## ～フルーツまつり～

秦野市園芸協会は、毎年じばさんずで「フルーツまつり」を開いている。今年は8月19日～9月11日、同会を構成するＪＡはだの果樹部会の部員が、じばさんずで梨とブドウの対面販売や栗の無料配布などを実施。市内外から訪れる来店者に、秦野産の魅力を広く発信した。

梨の試食を促す横溝部長

## 梨　試食販売　栗　無料配布

4日には、8月に実施した「市内産フルーツプレゼント」の贈呈式を開催。多数の応募の中から当選した12人に、秦野産の梨とブドウを贈った。

8月21日と4日には、果樹部会梨部の部員が試食販売会を開いた。店外に設けたスペースに部員が持ち寄った「豊水」「あきづき」の2品種を用意。来店者に試食を促しながら、栽培方法や今年産の出来などを説明した。来店者からは「みずみずしい」「甘くておいしい」などと好評を博した。

### ″甘い″″ほくほく″大好評

梨部会くり部が栗を無料配布した。事前に21㌔の栗を袋詰めし、準備を進めてきた。小澤明部長が来店者に手渡しながら、地場産の栗のPRに励んだ。開始前から長蛇の列ができ、開始数分で終了するほど人気を呼んだ。

小澤部長は「無料配布をきっかけに、より多くの人に秦野の栗のおいしさを知ってもらいたい」と話した。

栗を無料配布する小澤部長

横溝慶一部長は「今年は天候に恵まれ、例年より玉伸びが良く、糖度も上がった。消費者に品質の良さを実感してほしい」と話した。

9日には、果樹部会くり部が栗を無料配布した。

## 都市農業支援センター　落花生と芋収穫

はだの都市農業支援センターは、観光農業活性化に向けて、通年でさまざまな品目の農業体験を開いている。17日には新たに、堀山下の畑で落花生とサツマイモの収穫体験を開催。市内外から10組22人が参加した。

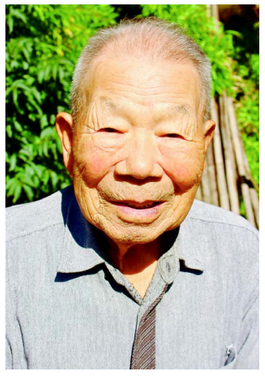
体験は、1区画サツマイモ5株、落花生10株を収穫でき、価格は1800円。参加者は、畑を管理する高橋正宏さんから品種の特徴などを教わった後、畝ごとに分かれ、次々と株を引き抜いた。その後、用意されたゆでた落花生を試食し、秦野の旬の味覚を楽しんだ。

サツマイモの収穫を楽しむ家族連れ

参加した南矢名の寄永邦子さんは「家族みんなで掘り取りを楽しめた。孫も喜んでくれたので、次回も参加したい」と笑顔で話した。

## 接近！おじゃします　332

### 家族の支えで長生き



西田原の
山口 精保（やまぐち きよやす）さん（95）

「家族の支えがあったからこそ、今も元気でいられる」と笑顔を見せるのは西田原の山口精保さん。農家の長男として生まれ育ち、学校から帰ると家族と共に葉タバコや落花生の栽培などに励んだ。高等小学校を卒業して陸軍士官学校で働いた後、21歳の時に騎兵隊として中国東北部（満州）へ出兵。パラオで終戦を迎えた後は、地元に戻り、妻らと農作業に汗を流した。

これまで70年以上農の道を歩み続けてきた山口さん。長年、米や秦野市の特産品「うでピー」用の落花生などを栽培してきたが、現在は体調を考慮し、合計約1・3㌶の畑を息子に任せている。「息子が継いでくれたことはとてもうれしい。仕事と農業の両方をこなして大変だと思うので、できる限りのサポートをしていきたい」と話す。

山口さんは農作業に励みながら、地域のためにも積極的に貢献してきた。ＪＡの理事や生産組合長、結婚相談員に加え、地域の自治会長などさまざまな役を歴任。「会議や祭りといつも忙しかったけれど、引き受けたからには一切妥協せず、一生懸命頑張った」と当時を振り返る。

山口さんは現在、週3日通っている福祉施設の仲間と積極的に交流を深めている他、自宅の周辺などを散歩し、できるだけ体を動かすようにしている。「これからも健康に気を付けながら長生きしたい」と意気込みを語った。

## やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに??」

### 報徳思想は協同の原点

ぴーなマン：日本の協同組合と二宮尊徳は深く関係してるって聞いたんだけど、尊徳ってどんな人なの？

やえのちゃん：二宮尊徳は、日本の協同組合運動の先駆けとして、江戸時代後期に報徳思想を唱えて、農村復興政策を指導した人なの。

小田原市出身で、小さなころは畑が大洪水の被害にあったり、家族が亡くなったりして苦しい生活をしていたんだって。でも、その後は武家に頼まれて農村復興などに励み、功績を積んでいったの。日本各地に弟子もできて、自ら出向いて指導もしていたらしいわ。

報徳思想は「弱い者同士が助け合って幸せな暮らしと社会を築く」という相互扶助の考え方で、今日の協同組合の原点と言われているのよ。ＪＡはだのはこの思想を大切にしようと、本所玄関前に尊徳の像を建てているの。

ぴーなマン：二宮尊徳の思想は日本の協同組合の発展に大きく影響しているんだね。ありがとう、やえのちゃん！

# 未来を担う世代を育てよう

「次世代との共生」に力を入れるJAはだのは、地域の若者や子どもたちを対象とした農作業体験や料理教室などを開いている。「食」や「農」の大切さを伝えるため、女性部などと積極的に連携して取り組む。地域の子ども会なども農作業体験を開き、幅広い世代の交流にもつながっている。

## 友達とグライダー作り
### 「ちゃぐりん」活用工作教室

10日には、本所で第5回ちゃぐりんスクールを開いた。小学3～6年生58人が、子ども向け食農教育雑誌「ちゃぐりん」の記事を活用した工作をした。また、地場産農産物を使った料理教室を楽しんだ。

工作教室では、家の光協会の職員を講師に招き、ストローの先にそれぞれ大小の紙の輪を付け、紙飛行機のように飛ばして遊ぶ「リング・リング・グライダー」作りに挑戦。児童は、作り方を確認し合いながら作業を進め、色を塗るなど、個性あふれるオリジナルの作品に作り上げた。

料理教室では女性部員が協力して、児童は地場産の落花生や小豆を使ったまんじゅうを作って味わった。

色を塗ってオリジナルのグライダーを作る児童

女性部などと連携しイベント

## 食や農の大切さ伝える
### 地域で子育てサポート
### 女性部と協力して内容充実

JAはだのは、子育て支援事業「ままメートクラブ」を開き、子育てをサポートしている。市内の生後6カ月からの未就学児と母親を対象に年3回開催。女性部目的別趣味グループと協力し、毎回、親子で楽しめる遊びを企画している。

16日に開いた「ままメートクラブ」では「ふわふわしっぽJ」「なかにわグループ」「桔梗会」の3グループが協力。19組27人の親子が、ビニール袋で作った風船などを使って遊んだ。おやつには、エーコープマーク品を使った青りんごゼリーを味わった。

参加者は「世代の違う人と交流ができるし、何より子どもたちが楽しんでいたので参加して良かった」と話した。

ビニール袋で作った風船で遊ぶ親子

### 稲作体験は交流の場
#### かかし作って田んぼに

鶴巻地区で、子どもの稲作体験を通して世代を越えた交流の輪が広がっている。地元団体の協力の下、子ども会が中心となり、子どもたちに田植えから収穫、食べるまでの一連の作業を経験する場を提供。食の大切さを教えると同時に、地域一丸となって取り組むことで絆を深めている。

4日には、26組の親子と協力する市民団体「鶴巻ホタルの会」の会員16人が、鶴巻南のひかりのまち公園でかかし作りに挑戦した。大人が竹を組んで稲わらを巻いたものに、子どもが古着を着せて顔を描いた。全部で14体を作り上げ、田んぼに設置した。

参加した親の一人は「活動を通して、子どもが普段でも大人に話し掛けるようになった。地域に子どもを見守る目が増え、生活に安心感も生まれた」と話した。

育てたもち米は11月に収穫し、1月に餅つきで味わう予定だ。

参加者みんなで田んぼに設置するかかしを作った

### 親子で楽しくそば打ち
#### 料理教室で野菜かき揚げも

4日には、料理を通じて食の大切さを学んでもらおうと、本所調理実習室で「親子料理教室」を開いた。市内在住の親子10組22人が参加した。

女性部の向原洋子さんが講師になり、そば打ちと地場産野菜を使ったかき揚げ作りを指導した。そば粉をこねるときの手の使い方や水の分量などを教えた他、かき揚げに使う野菜の切り方やさくっと揚げるこつなどを伝授した。

参加者は、完成させたそばとかき揚げを味わった後、食農教育紙芝居「ごはんつぶのすけ」を鑑賞。米は、しょうゆやみそを造るのに必要なこうじになることや、体を動かすエネルギーの源になることなどを学んだ。

参加者は「そば打ちは初めてだったけれど、親子で楽しくできた」「自分たちで作った料理はすごくおいしかった」などと感想を話した。


向原さんから生地のこね方を教わる子ども

現地の児童と絵画や書道を交換した視察団

## タイに視察団派遣
# 「アジアとの共生」を
## 農協や学校訪問し交流

JAはだのは、アジアの国々に組合員を中心とした視察団を派遣し、国際交流を深めている。組合員の見聞を広げるとともに、基本理念に掲げる「アジアとの共生」を進めることが狙い。5～9日には、団長を務める堀川の飯塚和彦さんら13人をタイに派遣した。

視察団は、ペチャブリ県のバンラート農協とカオヨイ農協を訪問し、互いの組織の運営や管内で生産している農産物などについて意見を交換。同平洋地域（TCA－AP）のメンバーと交流した他、タイの協同組合の概要などについて知識を深めた。

JAは10月11～15日に、ベトナムにも視察団を派遣する予定になっている。

## 観光農業の魅力知る
### 基礎講座で掘り取り

JAはだのは5日、堀山下の畑で組合員基礎講座を開いた。受講生34人が落花生「郷の香」の掘り取りを体験し、地域の特産物やJAの観光農業への取り組みを学んだ。

実習には、「大倉掘り取り観光組合」が協力した。受講生は、掘り取り方やさやの取り方を教えてもらいながら1人15株収穫。調理方法を教わった後、各自が持ち帰った。

受講生の一人は「秦野で掘り取りを体験できるなんて知らなかった。機会があったらまた体験したい」と感想を話した。

落花生のさや取りをする受講生

## 菊花会会員宅を巡回し栽培講習

菊花会は8月23日、菊の栽培講習会を開き、会員宅9戸を巡回した。11月に本所で開く菊花展に向け、生育状況を確認し、今後の栽培管理について意見を交わした。

会員の育てる菊は、細長く延びた花弁が優雅な「管物」と、太い花弁が集まってこんもりと盛り上がって咲く「厚盛」の2種類。

菊は気候条件や堆肥成分の影響を大きく受ける。このため、見事な花に仕上げるには、年ごとの生育状況によって栽培に工夫が必要になる。各会員は相互に菊を見て回り、日照量や風通し、病害虫の防除などについて具体的なアドバイスを送り合った。

菊の生育状況を確認しながら意見交換する会員

## 親睦深めて楽しくプレー
### ゲートボール大会

JAはだのは5日、なでしこ運動広場で第37回ゲートボール大会を開いた。14チーム78人が参加し、熱戦を繰り広げた。

参加チームは4コートに分かれ、1チームに付き4試合をプレーした。参加者は、チームメートから打ち出す方向の指示を受けながら、玉を打つ力の加減を調節。一打一打、集中して試合を進めた。

白熱した試合を制し、優勝したのは上地区の秦野上Bチーム。準優勝は大根地区の南矢名チーム、3位は大根地区のおおね台チーム。

参加者は「勝敗よりも、地域の仲間とプレーできることが楽しい。来年も参加したい」と話した。

見事優勝した上地区の秦野上Bチーム

## 長寿者に記念品贈呈
### いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

**88歳（米寿）**

▽東地区＝相原美代（寺山）須山清一（名古木）大津千代（東田原）山田ミヨ（東田原）
▽南地区＝岸本竹夫（今泉）猪俣トミ子（平沢）
▽西地区＝諸星セツ（曲松）谷美代（千村）
▽上地区＝中林久子（菖蒲）

**77歳（喜寿）**

▽東地区＝関野徳子（落合）山岸節子（寺山）
▽南地区＝浅澤トキ子（上今川町）
▽西地区＝石井昇（浜沢上）小島繁義（曲松）

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

## 発見！頑張り屋さん No.401

本町の―志村（しむら）　重機（しげき）さん（73）

### 材料にこだわり

本町で「秦野菓子工房㈲昭月」を営む志村重機さん。同店は、祖父が立ち上げ、125年の歴史を持つ和菓子の老舗。志村さんは高校卒業後、家業を継ぐため、同店で菓子職人としての腕を磨いた。1967年に製菓衛生士の資格を取得。先代の父から71年に引き継ぎ、社長に就任した。94年に行われた全国菓子大博覧会で大臣栄誉賞を受賞した経歴を持つ。地元の片町第一商店街で会長を4年間務めた他、自治会長を5年務めるなど地域に密着した活動にも貢献している。

―心掛けていることは？

お客さんに喜んでもらえるようなお菓子作りを心掛けています。安心して買ってもらえるように材料は国産のものをこだわって使っています。より良いものを提供したいので自分が安心できないお菓子は販売しません。

―人気の商品は？

「DAIFUKU」です。クリームソーダやモンブランなど全8種類の味があります。ネットや口コミで全国各地から注文があります。季節なではの商品も人気で、今の時期は栗を使ったどら焼きも人気です。

―JAとの付き合いは？

振り込みなど信用事業を利用しています。支所の窓口にもよく行きます。JAセレモニーホールはだのと提携しているので、葬儀のときの盛りものなどを出しています。

―仕事以外には？

写真を撮るのが好きです。風景や人などいろいろ撮ります。これからも自分の時間を楽しみながら、体調管理をしっかりして仕事も頑張っていこうと思います。

## 農地の有効活用学ぶ
### 体験農園のメリット説明
#### 都市農地保全推進協が研修会

農業体験農園のメリットを説明する加藤理事長

JAはだのは、秦野市と連携し「秦野市都市農地保全活用推進協議会」を設置し、農業と都市が調和した市街地の環境整備に取り組んでいる。12日には、「農業体験農園」に関する研修会を開催。参加した組合員39人に、農地の新たな活用方法を提案した。

農業体験農園は、農家自身が作付け計画を策定し、農機具なども用意。利用者は苗の定植や収穫など一連の農作業を体験する。農家は安定的な収入が得られる他、利用者は農家から指導を受けながら気軽に栽培技術を習得できるなど、双方にメリットを生むとして、現在人気を伸ばしている。

講師は全国農業体験農園協会の加藤義松理事長が務め、市民農園との違いや実際の運営方法などを解説。防災機能やコミュニティー形成など、農業体験農園が市街地においてさまざまな機能を果たすことを説明した。

# 電気柵設置をサポート

ＪＡはだのは、ＪＡグリーンで電牧器などの電気柵資材を購入した組合員に対し、新たに助成制度を設けた。助成金は上限3万円で、購入費用の半額をＪＡが負担する仕組み。制度を有効活用してもらうことで、生産コストの削減や多発する鹿やイノシシによる農産物への被害軽減につなげる狙いだ。

## 資材の購入者へ新たに助成制度

### 半額で上限３万円

この制度は、ＪＡはだのが進める営農経済改革の「鳥獣被害対策への取り組み強化」や「生産コスト低減対策」の一環だ。

領収書やＪＡ各店舗に置いてある申請書などの必要書類を用意し、ＪＡ営農課や各支所・支店へ申請する。助成は、ＪＡの1事業年度当たり、世帯で1回が上限。対象は2016年3月以降の購入者で、申請期間は18年2月28日までとなっている。同店では、Aセット（100㍍用）を3万4270円で販売。この他、Bセット（200㍍用）やCセット（400㍍用）、検電計なども取りそろえている。

問い合わせは営農課まで。☎81―7718

ＪＡグリーンで販売する電気柵用資材

## ストック八重見極め

### 花き部会一般切花研究会

### 初の単一品目栽培講習

花き部会一般切花研究会は9日、初めて単一品目の栽培講習としてストックの現地検討会を開いた。生産者ら10人が、戸川のハウスでストック苗の八重鑑別作業について意見を交わした。

ストックは通常、八重咲きと一重咲きが発現するが、市場価値が高いのは圧倒的に八重咲き。生産者にとっては発芽後、どれだけ一重苗を取り除き八重苗を残すかが重要な作業となる。

一方で見極めが難しいため、統一的な鑑別方法はなく、産地や生産者によって技術体系が異なるのが現状だ。現地検討会では林道弘会長の鑑別作業を見ながら、各生産者の作業方法について活発に話し合った。

林会長は406穴のセルトレー1穴に付き1粒まきし、一重咲きを全体の1割ほどまで抑えることに成功している。

ストック苗の八重鑑別について意見交換する生産者ら

## 栗出荷ピーク　大きく甘味も期待

果樹部会くり部は2日、今シーズンの栗の出荷を始めた。部員6人が約500㌔を出荷した。

部員らは、次々と選果場に栗を持ち込み、評価員が品質を検査した。その後、点数付けしたものを選果機でM、L、2L、3Lの四つの規格に選果し、ＪＡ全農中央ベジフルセンターなどへ出荷した。

小澤明部長は「今年の栗は、粒が大きく甘味も期待できる。多くの人に味わってほしい」と笑顔で話した。

出荷された栗を選別する部員

18日には、加藤秀雄副部長がtvk「かながわ旬菜ナビ」に登場。レポーターを務める伊藤綾香さんと共に、丹精して育てた栗を紹介した。

## 秋野菜栽培のポイント講習

### ＪＡグリーン

ＪＡグリーンはだのは11日、本所で秋の野菜づくり栽培講習会を開いた。家庭菜園愛好家ら80人が参加した。

講師を務める営農課の松下一興園芸技術顧問が、土づくりや施肥方法、品目ごとの栽培のポイントなどを説明。エンドウマメは連作に注意することや、ブロッコリーは早まきを避けて高温に強い品種を選定することなどを呼び掛けた。

同店は年間を通じ、春の野菜作り教室やタマネギ、ジャガイモ栽培講習会も開催し、利用者のニーズに応えている。

スクリーンを使って栽培管理のポイントを説明

## 受賞おめでとう！

### 日頃の成果を発揮

第27回秦野市落花生立毛共進会を8月18日、9月5日、市内ほか場と農業団地センターで開いた。審査の結果は次の通り。

▽優秀賞＝清水正夫・改良半立（鶴巻南）大庭和雄・郷の香（西大竹）▽優良賞＝佐藤良蔵・改良半立（鶴巻）清水正夫・郷の香（鶴巻南）▽佳良賞＝今井洋司・改良半立（横野）平井修一・郷の香（北矢名）

◇

果樹部会くり部は9日、選果場で栗果実品評会を開いた。審査の結果は次の通り。

▽優秀賞＝小泉武（羽根）▽優良賞＝小室豊彦（渋沢）小泉一雄（名古木）

## 野良からこんにちは

和田和子さん（平沢）畑一筋で頑張っています。ケイトウや菊などをじばさんず中心に出荷しています。

守屋千賀子さん（柳川）大好きなオクラを育てて、毎日、採れたてをおいしくいただいています。

## 営農技術　ヒント・ポイント

水稲

### 収穫・乾燥作業のポイント

農業技術センター　0463-58-0333
普及指導部――果樹花き課　果樹（伊藤）
野菜課（江口）
作物加工課　作物（辻本）
協力
農業技術センター足柄地区事務所　0465-83-5111
普及指導課――花き（勝間田）

1．収穫時期

稲をよく観察し、穂全体の籾（もみ）が黄化した割合（黄化割合）を確認して適期に収穫しましょう。「はるみ」と「キヌヒカリ」の収穫適期は、黄化割合が85％程度に、「さとじまん」では、黄化割合が90％程度になったころです。刈り遅れは穂発芽や胴割れ粒などの発生を助長し、品質低下につながるので天候を見極めて早めに収穫しましょう。収穫時の籾水分は21％～26％が適当です。

2．落水時期

落水の時期は収穫10日前ごろに行います。早期落水は、未熟粒や胴割れ粒などの障害粒が急増するので注意が必要です。

3．乾燥作業と胴割れ米の注意

収穫直後の籾は水分を多く含んでいるため、収穫後4時間以内に乾燥機へ入れて通風乾燥させます。また、コンバインで収穫した籾を急激に乾燥させると、胴割れ粒が発生するので、初めは送風だけにして水分を均一化した後に火を入れ、40度以下の温度で徐々に乾燥させます。

仕上がりの玄米水分は、14・5～15％となるように調整します。乾燥のしすぎは、食味を落とすだけでなく、胴割れ粒などにより品質も落とすので、適正な水分に仕上げましょう。

4．調製作業

1・8㍉以上のグレーダーで丁寧に調製し、細粒を取り除き、品質の良い玄米に仕上げましょう。

5．異物混入防止

出荷玄米に異物を混入させないため、収穫を始める前と異なる品種を収穫する場合にコンバイン、乾燥・調製機や搬送設備の清掃を徹底しましょう。

乾燥・調製・袋詰めなどの作業の際は、品種名を明示し、品種の取り間違えがないよう注意を払いましょう。

（辻本）



## 文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

厄介な話の続き葡萄食む　高島美和子（名古木）

評　延々気の重い話を聞かされている思案に途切れたちょっとした間に気を取り直すように葡萄をつまんでいる。この句の深刻さを見事に葡萄で消化している。

盆の寺枯れ山水の流れかな　芦川　松江（八沢）

評　盆に限る訳ではないが有名な京の寺の庭や枯れ山水の庭の白砂に流麗な水の流れを線で表現して抽かれ庭の美しさをより引きたて朝夕の景色を成している。

晩秋やコスモス褪せし遊園地　石原　松枝（渋沢）

身に沁むや古代文化の展示物　酒井　紗恵（桜町）

南風吹いて真田幟の町おこし　柴崎　和子（渋沢）

少年の部屋は三階星月夜　高橋　順子（大秦町）

槌音のひびく巧みに残暑かな　柳川みち子（栄町）

星月夜ギリシャ神話に惹かされて　佐藤英美子（南矢名）

胡弓の音おわら淋しき風の盆　森高　由子（渋沢）

星月夜あかときに出る土百姓　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

誰が蒔きし朝顔なるや雑草の中に一輪青の輝く　八木　実（鶴巻北）

評　雑草の茂る中に咲く青い朝顔、ただ一輪であるが故に、印象が際立っている。草むしる指に触れたる秋茗荷　今井　かめ（羽根）

くるりと二つ楚々と花持つ二度なりのいんげん豆がしろき花　山中　五雄（鶴巻南）

小さくつけて種を引き継ぐ夕立に炭坑節の曲止みて　細田　富士（千村）

浴衣の人らでテント膨らむヒル、マダニに食われたときはマムシ酒後も残さず完治するなり　峰　孝子（千村）

盆も明け北の山波くっきりと食前作業はや長袖で　伊東　久（渋沢）

佐渡の海に向かいて良寛の像のあり丸きその背の亡き母に似て　選者

## 今月の理事会

9月21日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2016年度上半期事業報告について

▽ＪＡはだのケアセンター運営規程（指定介護予防訪問介護事業）の廃止について

▽反社会的勢力等への対応に関する規則の一部改正について

▽役員休制見直しについて

▽組合員教育対策委員会への諮問について

▽国債窓販および投信窓販業務にかかる関連規程類の改正、廃止について

▽高額貸出金の借入申し込みについて

▽理事の利益相反取引について

## 利用者の笑顔がやりがいに

### 「すみれ会」

楽しいよデイサービス

ＪＡデイサービスセンターはだののイベントやボランティア活動を紹介します。

◇

私たちは、利用者の方々に「ちぎり絵」を教えています。指先を使い、新聞の広告の色刷り部分をちぎってはがきに貼ることで、リハビリにもなりますし、元が新聞紙と思えないような四季折々の作品に仕上がります。

利用者の方々はいつも喜んでくれて、その笑顔が私たちのやりがいです。長く活動を続けるとともに、利用者の方々に楽しんでもらえるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

◇

お問い合わせは、ＪＡはだのデイサービスセンターはだのまで。☎85―5177

## 家の光　今月の新刊

### くだもののおいしい作りおき　果実酒・果実酢・ジャム・シロップ　ワタナベマキ　著

季節の果物や野菜をおいしく長持ちさせる、簡単な作りおきのレシピ。果実酒や果実酢、ジャム、シロップの他に、コンポートやペーストなどを幅広く紹介している。作りおきだからこそできるアレンジレシピも豊富に掲載しており、ためになる。

定価1296円（税込み）

## 秦野の農家ご飯

### スペアリブ赤ワイン煮込み

北支部戸川寺脇下組2班　松藤 弘子

■材料（3～4人分）■

豚スペアリブ450～500㌘、タマネギ中1個（150㌘）、ニンジン中1本（150㌘）、トマト中1個（100㌘）、A（赤ワイン100cc、ウスターソース大さじ1、トマトケチャップ大さじ1）、塩適量、こしょう適量、小麦粉適量、バター適量、サラダ油適量

＜作り方＞

①豚スペアリブは塩、こしょうをして、小麦粉をまぶす。ニンジンとタマネギは粗みじん切り、トマトは八つ切りにする。

②フライパンにサラダ油を入れて、下処理したスペアリブを焼き、焦げ目を付ける。

③鍋にバターとサラダ油を入れ、ニンジンとタマネギを炒める。

④③の鍋に②を入れ、具が浸るまでAと水を加え、弱火で15～20分煮る。

⑤トマトを加え、塩、こしょうで味を整える。

とろみが付くまで煮たら、皿に盛って完成。

＜ひとことアドバイス＞

その時々の旬の野菜を加えると、季節によって違う味が楽しめます。骨からだし汁が出るので、余ったスープを煮詰めてパスタのソースにしてもおいしいです。

### インドアグリーンと暮らす

選び方・飾り方・育て方　TRANSHIP　著

インテリアの一部として人気のインドアグリーン（観葉植物）40種を厳選。樹形や葉の大小など

の特徴がよく分かる写真とともに、日々の育て方も詳しく解説。

定価1728円（税込み）

### パウンド型で焼けるおいしい食パン

幸栄　著

こねる時間はたった3分！小さく作れておいしく食べきる画期的な食パンレシピ。家庭用オーブンでちゃんと焼ける。

定価1404円（税込み）

結婚相談日
10月10日（月）
時間　午前9時～正午
場所　ＪＡはだの本所
農業団地センター1階
お問い合わせ
組織教育課☎81―7714

税務相談日　10月11日（火）午前9時30分～
法務相談日　10月20日（木）午後1時30分～
場所　ＪＡはだの本所2階
組織教育課
☎81―7714
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受け付け順に相談時間が決まります。

◆農薬散布時のマスク・メガネの割引キャンペーン実施◆

ＪＡはだの秋期農作業安全運動に合わせ、ＪＡグリーンはだのは10月31日まで、農薬散布時などに使用するマスクやメガネの割引キャンペーンを実施しています。期間中は特別価格で販売していますので、このお得な機会にぜひご購入ください。

ＪＡグリーンは頑張る農家を応援！

お問い合わせはＪＡグリーンはだのまで。

☎81―7719

共済保障見直し休日相談会
●皆さまに合った最適な保障をご提案させていただきます。
日時・会場　※当日ご来場の方にJA共済オリジナルグッズをプレゼント！
10月2日(日)　JAはだの南支所
※時間は午前9時から午後4時まで
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
▣共済保障見直し休日相談会についてのご予約・お問い合わせは、南支所へ
JAはだの南支所　☎81－0268

住宅ローン年金受給手続休日相談会
●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
日時　10月23日(日)
会場　JAはだの本所 農業団地センター
ご来場の方に記念品を進呈
※時間は午前9時～午後4時まで
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
それぞれ事前予約をされると便利です。
◆住宅ローンを相談される方は 融資課 に
◆年金受給手続きを相談される方は 信用課 に
JAはだの本所
秦野市平沢477
■融資課 ☎81-7713 当日は 0120-954-093
■信用課 ☎81-7716 当日は 0120-954-092

# 力を合わせ多彩に

女性部は、部員間の交流を図り組織の活性化につなげることを目的に、支部ごとにさまざまな活動を展開している。「ふれあい文化活動」「食と農の活動」「生活健康管理活動」「高齢者福祉活動」の4分野と、次世代に伝統料理を伝える「ふるさとの味伝承活動」に取り組み、女性の力を発揮している。

## 女性力発揮――支部活動

### ふるさとの味伝承活動
## 園児の母にそば打ち指導

**西支部**

西支部は12日、本所で市立西幼稚園の園児の母親を対象に「ふるさと料理教室」を開いた。18人が、そば打ちを体験した。

女性部員は、そば粉に水を少しずつ加え、乾燥しないように手早くこねるよう指導。参加者は、生地の固さや包丁の使い方などを教わり、作業を進めた。

参加者は、部員手作りの地場産野菜を使ったかき揚げや漬物と一緒にそばを味わった後、食農教育紙芝居「ごはんつぶのすけ」を鑑賞した。

森谷年子支部長は「料理を通して楽しく交流でき」と話した。

部員に教わりながらそば生地を切る参加者

### ふれあい文化活動
## 廃油でせっけん作り

**本町支部**

本町支部は8月24日、本町支所で使用済み油を使ったせっけんを作った。部員11人が参加した。

部員はカセイソーダを水に溶かし、各自で持ち寄った使用済みの油を少しずつ加えた。竹の棒でとろみが出るまで30分ほど混ぜ続け、空の牛乳パックに流し入れた。各自持ち帰り、1週間から10日かけて固めた後、使いやすい大きさに切って、天日干しして完成させる。

参加した部員の一人は「油は処分に困るからリサイクルになって助かる。汚れもよく落ちるので早く使いたい」と話した。

油を加えてゆっくり混ぜ合わせた

### 食と農の活動
## 肌に栄養 ヘチマ化粧水

**南支部**

南支部は14日、南支所でヘチマ水を使った化粧水を作った。

ヘチマ水には皮膚細胞を活性化させ、肌に栄養と潤いを与えるさまざまな栄養素があり、毎年部員に好評だ。部員19人が、丹精込めて育てたヘチマから採取したヘチマ水を持参した。

毎年参加している部員が中心となり、ろ過してグリセリンやエタノールなどを混ぜ合わせた。その後、オリジナルのシールを貼った容器に入れて300本の化粧水を完成させた。

ヘチマ化粧水を慎重にボトルに入れる部員

### 生活健康管理活動
## 膝・腰痛の予防法学ぶ

**東支部**

東支部は15日、東支所で健康講座を開いた。JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院から講師を招き「ひざと腰の痛みについて」と題して講演。部員21人が参加した。

部員は、膝や腰の痛みの種類と症状などの説明を聞き、日頃の食事や運動など、生活習慣の改善が大切だと学習。普段の生活の中でできる予防や緩和方法を教わり、健康維持への意識を高めた。

部員は「膝や腰の痛みは、多くの人が抱える問題。学んだことを日頃の生活に生かしたい」と話した。

講師が腰の痛みについて説明

### ふれあい文化活動
## 豆腐作りで地産地消

**北・上支部**

北支部は8月25日に北小民館で、上支部は18日に本所で料理講習会を開催。合計25人が参加し、豆腐作りをした。

女性部では、地産地消を目的に「自給率向上！大豆プロジェクト」に取り組み、収穫した大豆は支部活動にも活用。豆腐を同講習会のメニューに起用した。部員はレシピを確認しながら、煮た大豆を木綿袋で絞り豆乳とおからに分離。豆乳にがりを加えて型に流し込んで固めるなど、協力して調理に励んだ。

完成した豆腐は冷やっこで、おからはおからサラダにして味わった。

豆腐を丁寧に切り分けた

### 高齢者福祉活動
## 小物作りを手ほどき

**大根支部**

大根支部は16日、大根支所で高齢者の生きがいと仲間づくりを目的に開催する「お茶飲み交流会」に協力。レクリエーションを行い、昼食を味わうなど参加者と楽しいひと時を過ごした。

部員は、プリザーブドフラワーを使った小物作りを参加者に指導。花は生花より破損しやすいため、優しく扱うように注意しながら完成まで手ほどきした。他にも、南京玉すだれを披露するなど、会場を盛り上げた。

小物作りに挑戦する参加者

## 10月の女性部行事予定

4日（火）第36回女性部運動会（雨天5日）
　9：00～カルチャーパーク陸上競技場
6日（木）ふるさと料理教室（堀川幼稚園）
　9：30～堀川公民館
7日（金）農業まつり運営委員会
　9：30～百合の間
〃　女性部本部役員会
　13：30～団地2階・研修室
12日（水）南支部「料理講習会（そば・かりんとう）」
　9：30～団地2階・調理実習室
13日（木）女性部支部役員会（大根）
　9：30～大根支所・会議室
〃　女性部支部役員会（北・上）
　13：30～各支所・会議室
14日（金）西支部「料理講習会（豆腐作り）」
　9：30～団地2階・調理実習室
〃　女性部支部役員会（東）
　9：30～東支所・会議室
〃　女性部支部役員会（本町・南）
　13：30～各支所・会議室
〃　女性部支部役員会（西）
　13：30～団地2階・研修室
20日（木）JAはだの・家の光クッキング・フェスタ
　10：30～虹の間
21日（金）県女性協役員会
　10：00～JAグループ神奈川ビル
24日（月）大根支部「支部旅行（昭和記念館）」
　7：45～東京方面
25日（火）ふるさと料理教室（南幼稚園）
　9：30～南公民館
27日（木）南支部「支部旅行（築地・観劇鑑賞）」
　8：00～東京方面
〃　東支所「お茶飲み交流会」
　9：30～東支所
28日（金）県女性協部長・事務局会議
　13：30～JAグループ神奈川ビル

### いきいき女性部活動
## 「衣裕（きぬあわせ）」

代表　小野福代

私たちのグループは布で人形や小物入れを作っています。講師の先生がいないので、中心になる人を順番に変えながら、みんなでオリジナルの作品を作り上げます。本を見ても同じような作品が多く、年齢を重ねたせいか、あまり複雑な物には手が出なくなっている自分を感じる時もあります。

現在、部員は7人ですが、和気あいあいと楽しく作品を作っています。お話も盛んで、多くの分野の情報を交換しています。休憩の時間には、手作りの品を並べ、それぞれの作品を見せ合うのも楽しみの1つです。

ただ今、月2回（第2、4水曜日）、本所農業団地センターで作品作りに励んでいます。興味のある方は、ぜひご参加ください。

# お知らせ板

## 秦野市畜産まつりを開催

家畜コンテストの畜産共進会と併せて「畜産まつり（第60回畜産共進会）」を開催します。秦野市の畜産に触れ合えるさまざまな催しをご用意しています。ご家族そろって遊びに来てください。

◎日時　10月2日（日）午前10時～午後2時
※雨天決行
◎場所　田原ふるさと公園中丸広場
◎出品家畜　乳牛、豚、肉牛、綿羊
◎内容　畜産共進会、小動物ふれあいコーナー、乗馬・乳搾り体験、堆肥の販売、バーベキュー・焼きそばなどの模擬店、出品・入賞家畜の展示

お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。☎81－7800

## 10月の年金相談会

年金の受給に関する無料の相談会を開きます。個別にご相談をお受けしますので、お気軽にご来所ください。

◎10月7日（金）秦野駅前支店
◎10月23日（日）本所農業団地センター2階
時間は午前9時から午後4時まで。相談を希望される方は、支所または信用課まで事前予約をお勧めします。

お問い合わせは信用課まで。☎81－7716

## 野焼きと農薬使用について

屋外における焼却（野焼き）は、神奈川県生活環境の保全等に関する条例」で規制されています。農林業者については、自己の農業・林業の作業に伴って行う焼却で、軽微なものに限り例外として認められています。

やむを得ず農地などで野焼きを行う際は、マルチなどのプラスチックを取り除き、煙などによる周囲の生活環境に影響がないように、乾燥させてから少量ずつ焼却し、風向き、時間帯などの配慮をお願いします。

なお、生活ごみや剪定（せんてい）枝などは、市の収集日に出すなど決められた方法で処理をしてください。

また、住宅地に隣接する土地などでの農薬使用に当たっては、「農林水産省消費・安全局長、環境省水・大気環境局長通知」で使用者の順守事項が規定されています。やむを得ず使用する場合は、飛散・臭気などにより周囲の生活環境に影響がないように、事前に周辺の方に知らせる他、風向き・時間帯などの配慮をお願いします。

お問い合わせは秦野市環境保全課まで。☎82－9618

## 2016年度米穀の検査集荷について

2016年度米穀の検査集荷を左表の通り実施します。持ち帰り検査を請求受検の方は、◎印の検査日（計3回）にお願いします。指定日以外は実施しません。大根以外の地区の方は、持ち帰り専用の検査日もご活用ください。

また、庭先集荷を希望される方は、3営業日前までに各支所へお申し出ください。集荷運賃は1袋（30㎏）当たり60円で、口座から徴収します。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

検査日程

| 本年検査予定日 | 検査場所 | 該当地区 |
|---|---|---|
| 9月27日（火） | 大根 | 大根 |
| 9月29日（木） | 大根 | 大根 |
| 10月5日（水）◎ | 本所 | 大根以外　全地区 |
| 10月7日（金）◎ | 大根 | 大根 |
| 10月14日（金） | 大根 | 大根 |
| 10月19日（水） | 大根 | 大根 |
| 10月21日（金） | 大根 | 大根 |
| 10月28日（金） | 本所 | 本町 |
| 11月2日（水）◎ | 本所 | 全地域持帰り検査 |
| 11月9日（水） | 本所 | 東・南・西・北・上 |

## カラオケ大会参加者を募集

11月20日（日）の農業まつりで、カラオケ大会を開催します。市内在住の方ならどなたでも参加いただけます。この機会にぜひ、自慢ののどを披露してみませんか。お申し込みは10月26日（水）まで。

お問い合わせは企画課まで。☎81－7714

## 農業制度資金のご案内

主な資金メニューは4種類

（1）かながわ都市農業推進資金
◆農業近代化資金
○一般的な事業投資向けの資金
○主に認定農業者が対象
◆農地取得資金
○農地、畜舎用地などを購入するときに利用する資金
◆簡易融資資金
○簡易な手続きにより、小口の資金需要に機動的に対応する資金
（2）就農支援資金
○新規就農する際に利用できる資金（農家後継者でも可）
○認定就農者のみが対象
（3）農業改良資金
○新分野や新技術など、新たな取り組みにチャレンジするときに利用できる資金
（4）農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）
○資金規模が大きいもの、償還期間が長いもの、農地取得を含むものなどに利用。
○認定農業者のみが対象

どの資金を利用するかは、借入者、資金使途、投資事業の内容などによって、目的に合った最適なものを選択することになります。

お問い合わせは融資課、各支所・支店まで。

## 生産緑地地区の取得あっせんについて

秦野市より生産緑地法第13条に基づき、左表の通り生産緑地のあっせん依頼がありました。農業に従事される方で、生産緑地として取得を希望される方は、10月20日（木）までに秦野市都市政策課都市計画担当までご連絡を。☎82－9643

※応募者多数の場合は抽選となります。

| 土地の所在および地番 | 地目 | 面積（平方㍍） |
|---|---|---|
| 曽屋1158番1 | 畑 | 525 |
| 曽屋1158番2 | 畑 | 28 |
| 曽屋1158番3 | 畑 | 93 |
| 曽屋1158番4 | 畑 | 43 |
| 曽屋1159番1 | 畑 | 1107 |

## 写真コンテスト作品を募集中

第12回JAはだの「農」の魅力」写真コンテストを開催します。テーマは、農業やJAの活動を通じた〝ゆとり〟〝やすらぎ〟〝つるおいい〟を感じる魅力ある秦野の景観。皆さんの渾身の1枚をお待ちしています。

応募期日は2016年10月21日（金）まで。入賞作品は「農業まつり」で表彰と展示を行います。詳しくは、組織教育課☎81－7714または各支所・支店までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

## ジャンボタニシの適切な防除を

鶴巻地区の水田を中心に、水稲を食害するスクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）が増殖しています。繁殖力が非常に高いため、大量に発生すると駆除が困難になります。

対策として①稲の茎や水路などに産み付けられたピンク色の卵塊は、水中に落とす。ふ化前の白い卵塊はすり潰す②採取した貝は水路などに放流しない③水田への貝の侵入を防ぐため、取水口や排水口に金網などを設置する④生息域を拡大させないために、トラクターなどで移動する際は、タイヤなどをよく洗う――などに努めてください。

お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。☎81－7800

## マル武人形展の中止について

定期的に本所で開催していたマル武人形展は、諸般の事情により昨年度で終了となりました。これまでに購入いただいた人形の修理については、全農かながわが対応いたします。

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

## じばさんずNEWS

【10月のイベント】

☆「ユースマルシェ」1日（土）
青年部員が落花生や茶、小菊などを対面販売します。

☆「新米まつり」1日（土）、2日（日）
大人気の秦野産キヌヒカリがついに登場！豪華賞品が当たるイベントです。

☆「リンゴフェア」8日（土）
産地間提携先の旬のリンゴを販売します。

☆「おすすめ品フェア」8日（土）、9日（日）
お酒のお供になる乾物などを豊富にご用意します。

☆「農家手作り加工品」9日（日）、10日（月）
農家が手作りしたさまざまな加工品をご用意します。

☆「トマトの日」10日（月）
秦野産のトマトをふんだんに使ったオリジナルドレッシングのレシピを紹介します

☆「秋の収穫祭」15日（土）、16日（日）
旬を迎えた地場産の野菜や果物を試食販売します。

☆「お茶・さつまいもフェア」22日（土）、23日（日）
秦野産のお茶やサツマイモを試食販売します。

☆「農村レストラン弁当」25日（火）
農家のお母さんの手作り弁当です。秦野産野菜がたくさん入っていておいしいですよ。

☆「果物フェア」29日（土）、30日（日）
旬の果物を試食販売します

☆「国産加工豚の日」8、15、22、29日の土曜日
㈱フリーデンが国産豚を飼養した加工品を試食販売します。

☆「試食の日」毎週火曜日
生産者が出荷している旬の野菜の紹介・レシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「お肉の日」毎週木曜日
店頭価格から10％引き。

☆「たまごの日」毎週金曜日
店頭価格から10％引き。

## 今月の生産者

堀山下の仲戸川（なかとがわ）賛治（さんじ）さん

**出荷品目**　タマネギ、長ネギなど露地野菜を約20品目

今年のタマネギは、玉伸びが良く大玉なものが出荷できました。安価で提供できるように心掛けていますので、ぜひ手に取ってください。

# 組合員の声をもとに、さらなる前進を目指して

組合員の皆さまの意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を高めようと、
秋の座談会を9月29日(木)から10月12日(水)まで市内83会場で開きます。
2016年度の上半期事業報告やJAはだの自己改革についての情報などについて話し合います。
また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひお聞かせください。
組合員やご家族の皆さまのご出席をお願いいたします。

**秋の座談会にご出席ください　9月29日(木)▶10月12日(水)**

**市内83会場で開催**

JAはだの

発行所
秦野市農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永　均
印刷所 ㈱JA情報サービス

## 上半期の主な軌跡

### 6月 June

▶南支所で秦野警察署生活安全課の職員を招いて振り込め詐欺防止の訓練をしました。高齢者の高額出金者が来店した際の対応を学び、一層の被害防止に努めます**＝写真**。
▶青年部が子どもたちに食と農を身近に感じてもらおうと、市内の幼稚園や保育園20園に野菜苗を贈りました。声を掛けながら直接手渡し、園児と交流しました。
▶子育て支援事業「ままメートクラブ」を開催し、市内の親子20組が参加しました。女性部目的別趣味グループが協力しました。

### 7月 July

▶スクミリンゴガイ(通称ジャンボタニシ)の駆除作業に役職員がボランティアとして協力しました。**＝写真**。
▶第20回夏休み子ども村を長野県阿智村周辺で開催。192人の児童が、ブルーベリーの摘み取りなどの農業体験を通して、食と農の大切さを学びました。
▶組合員の健康増進と福祉に対する意識の高揚を図るため、本所で健康福祉大会を開きました。女性部や青年部、生産組合から202人が参加しました。

### 8月 August

▶JA東西しらかわと「友好JA協定」「災害時相互支援に関する協定」を締結しました**＝写真**。
▶文化講演会を開き、東京海洋大学名誉教授のさかなクンを講師に招きました。組合員や地域住民ら1,230人が訪れました。
▶秦野市の特産である落花生を使った冷凍ゆで落花生「うでピー」の加工がスタート。じばさんずや特産センター秦野・渋沢両店などで、250㌘450円で販売しています。

### 3月 March

▶JAはだのではJAの各施設に設置している飲料の自動販売機全30台で、収益の一部を募金できる仕組みを導入しました。1本売れるごとに6円が、赤い羽根共同募金に寄付されます**＝写真**。
▶はだの都市農業支援センターによる「はだの市民農業塾」が開講。新たな担い手の育成に励んでいます。
▶じばさんず元気いっぱい生産者大会を本所で開きました。出荷者103人が参加し、地産地消の躍進に向けて一丸となることを誓いました。

### 4月 April

▶地域農業振興を目指す営農経済改革の「営農指導体制の強化」を実践するため、TAC活動を専任的に行う3人を新たに配置しました**＝写真**。
▶情報の発信力を高めるため、ホームページとメール情報配信サービスを一新。また、JAはだのオリジナルキャラクターの作成や機関紙「JAはだの」にカラー紙面を導入するなど、広報機能を充実しました。
▶春の座談会を市内83会場で開き、組合員1,320人が出席。626件の意見・要望が寄せられました。

### 5月 May

▶次世代を担う子どもたちを対象にした「ちゃぐりんスクール」を開校。組合員の協力の下、野菜苗の植えつけや料理教室などのカリキュラムを通して食と農の大切さを学んでいきます**＝写真**。
▶第53回通常総会を文化会館大ホールで開催し、8議案を可決。多くの組合員が出席しました。
▶2016年度の協同組合講座がスタート。活発な協同組合運動や組織リーダーの育成を目的に、組合員基礎講座、組合員講座、専修講座を開き、138人が受講しています。

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用 70% RECYCLED PAPER

# 豊かな社会を協同の力で!

## 2016年度上半期の状況

**JAはだののすがた** 2016年8月31日現在
(　)内は前年同期実績　数字は単位未満切り捨て

### 01 みんなの仲間

組合員数 **14,172**人 (13,925人)
- 内訳 正組合員数 **2,961**人 (2,979人)
- 内訳 准組合員数 **11,211**人 (10,946人)

組合員戸数 **11,644**戸 (11,483戸)
- 内訳 正組合員戸数 **2,343**戸 (2,359戸)
- 内訳 准組合員戸数 **9,301**戸 (9,124戸)

### 02 資本の状況

資本の合計 **152**億円 (146億6千万円)
- 内訳 出資金 **18**億円 (18億2千万円)
- 内訳 準備金・積立金他 **134**億円 (128億4千万円)

単体自己資本比率 **18.64%** (2016年2月28日現在)
(国の基準4%以上、JAバンク自主基準8%以上)

※資本は、貸借対照表の「純資産」のことです。

### 03 組織活動 教育広報の取り組み

- 協同組合活動の充実と組織リーダーの育成
- 次世代対策活動と食農教育活動の充実
- 生産組合組織の活性化に向けた取り組み
- 農政活動・税制と補償対策
- ホームページのリニューアルや機関紙「JAはだの」の一部カラー化など、情報提供の充実・強化

### 04 安全・安心な農産物の供給

- 「はだのじばさんず」を中心とした新鮮で安全・安心な農産物の供給

はだのじばさんずの利用状況
- 利用者総数 **29**万人 (28万人)
- 1日当たりの利用者数 **1,590**人 (1,553人)
- 取扱高 **5**億**1**千万円 (5億2千万円)
- 1日当たりの取扱金額 **281**万円 (283万円)

全体の取扱高 **12**億**9**千万円 (12億8千万円)

### 05 営農活動の取り組み

- 「地域農業振興計画」による営農指導の充実
  - ・営農指導員の確保と体制整備
  - ・販売力強化に向け、販路の拡大
  - ・地域の特性に合った振興作物の栽培
- はだの都市農業支援センターとの連携
  - ・体験型農園オーナー制度や旅行会社と連携した観光農業の実践
  - ・鳥獣被害防止に向けた取り組みの実践

### 06 健康と福祉の取り組み

- 生活指導・健康管理活動の充実
- 高齢者福祉活動の充実
- 生活文化活動や子育て支援への取り組み
- 健康福祉基金による支援活動の充実

▶人間ドック受診者　利用者人数 **270**人 (240人)
▶乳がん・子宮がん検診受診者　利用者人数 **47**人 (44人)
▶長寿記念品の贈呈　利用者人数 **107**人 (65人)

### 07 共同購入でくらしを豊かに

- 予約購買による生産資材の供給
- 安全・安心な生活物資のPRと供給

全体の供給高 **20**億**2**千万円 (15億6千万円)
- 内訳 生産資材 **6**億**4**千万円 (6億8千万円)
- 内訳 生活物資 **13**億**8**千万円 (8億8千万円)

### 08 くらしのための共同施設の利用

- JAセレモニーホールはだのの運営の充実強化
- 利用者に満足いただける旅行の提供

全体の取扱高 **3**億**2**千万円 (3億3千万円)

主な施設の取扱高
- 旅行センター **7**千万円 (5千万円)
- JAセレモニーホールはだの **110**件 **2**億**4**千万円 (108件　2億7千万円)

### 09 便利で安心JAバンク

- 特別貯蓄運動・キャンペーンの実施
- 年金相談会の開催

貯金残高 **2,189**億円 (2,164億円)

### 10 農業・生活・事業資金などのご融資

- 農業振興や生活・事業などの資金対応
- 休日ローン相談会の開催
- 住宅・マイカー・教育ローンとくとくプランの実施

貸出残高 **401**億**5**千万円 (450億2千万円)
※金融機関貸付金▲56億円

### 11 万一に備えての共済

長期共済新契約高 **205**億円 (220億円)

長期共済保有高 **4,550**億**5**千万円 (4,565億9千万円)

上半期に支払った事故共済金額 **677**件 **4**億**7**千万円 (740件　4億7千万円)
- 内訳 生命 **340**件 **3**億**1**千万円
- 内訳 建物 **50**件 **2**千万円
- 内訳 自動車 **285**件 **1**億**3**千万円

### 12 活動のみのり

上半期剰余金 **2**億**7**千万円 (2億6千万円)

### 13 ㈱協同コンサルトはだの

- まかせて安心JAのマイホーム建設
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

入居率 **95.6%** (95.9%)
※入居率はJA系統の管理会社2社の数値です。

# JAはだの自己改革への挑戦（上半期の主な取り組み報告）

2016年8月末現在

| | 重点実施事項 | 上半期の主な取り組み |
|---|---|---|
| 1 | 営農指導事業強化に向けた取り組み（担い手の育成・支援） | ・営農経済部を営農部と経済部に分割しました。 |
| | | ・担い手に出向くTAC担当者を3人配置しました。 |
| | | ・TAC活動では、認定農業者・大口出荷者・新規就農者らを中心に情報提供と相談機能の充実に努めました。 |
| | | ・販売振興作物「ニンジン」の生産を継続しました。17人76㌃（前年20人81.5㌃） |
| | | ・鳥獣被害対策作物「エゴマ」の作付けを拡大しました。4人1組37㌃（前年1人1組11㌃） |
| | | ・秦野産小麦の有利販売と産地化に向けて「秦野小麦出荷組合」を設立しました。（7人1組580㌃） |
| | | ・スクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）の発生を受け、鶴巻営農組合を主体とした駆除作業に、役職員70人がボランティアとして協力しました。 |
| 2 | 販売力強化に向けた取り組み | ・生産者の販路拡大の希望に応え、新たにカボチャ、タマネギ、ナス、ジャガイモを全農中央ベジフルセンターへ販売しました。 |
| | | ・峠地区のソラマメを横浜金港市場へ新たに販売しました。 |
| | | ・全農中央ベジフルセンターと連携して、9月28日開店予定の小田原百貨店（大雄山駅前店）への出荷準備を進めました。 |
| | | ・ふるさと納税を活用した販路拡大に取り組みました。 |
| | | ・地場産の豚肉・ニンニク・卵・キャベツを使った加工品（シューマイ・ギョーザ）や茶葉を原料としたアイスの生産を支援し、販売を開始しました。 |
| | | ・じばさんずの午後の荷や端境期対策として予冷庫を導入しました。 |
| | | ・夏期特別貯蓄運動の賞品として地場産の果物（ブドウ・梨）を提供しました。 |
| 3 | 生産購買強化・再構築に向けた取り組み（生産資材価格メリットの提供） | ・生産コスト低減対策として、物流コスト削減により取り扱い上位品目の肥料の価格を値引きしました。（下記の「生産コスト低減対策取り組み内容」を参照） |
| | | ・JAグリーンの集客増加と生産資材価格低減に向けたキャンペーンを定期的に実施しました。 |
| | | ・系統外メーカーとの価格交渉と輸入肥料の取り扱い開始に向けた準備を進めています。 |
| | | ・鳥獣被害軽減のため、電牧器関連資材の助成制度を実施に向け検討しました。（9月開始） |
| | | ・JAグリーンの開店時間を試験的に月・水・金曜日の週3日、30分早めて午前7時30分にしました。 |
| | | ・県内JAと連携して生産資材の仕入れについて研究しました。 |
| 4 | 組織運営改善に向けた取り組み | ・総会の特別決議として「JAはだのみんなで地産地消運動」を提案し可決しました。 |
| | | ・正組合員加入促進運動を開始しました。 |
| | | ・支所運営委員会を設置し、活動の展開について検討しました。 |
| | | ・機関紙「JAはだの」にカラー紙面を導入し、情報をより明確かつ効果的に発信しました。 |
| | | ・ホームページをリニューアル。メール情報配信サービスも一新し、簡単に登録できるQRコードを導入しました。 |
| | | ・オリジナルキャラクター「やえのちゃん」と「ぴーなマン」を作成、活用を開始しました。 |
| | | ・農協法改正に伴う役員選出について組織問題審議会、各組織、役職員によるプロジェクトチームで検討しました。 |
| 5 | 経営管理改善に向けた取り組み | ・施設内全飲料の自動販売機売上利益の一部を、赤い羽根募金に寄付する取り組みを開始しました。（1本当たり6円） |
| | | ・「友好JA協定」「災害時相互支援に関する協定」を締結しました。（8月に福島県JA東西しらかわ、9月に福岡県JAにじ） |
| | | ・会計監査人監査への移行に向けた研究などを行いました。 |

メール情報配信サービス
こちらから登録できます

## 平成28年度 生産コスト低減対策取り組み内容

ＪＡはだのの、自己改革の最重点項目は「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」「地域の活性化」です。農業者の所得を増やすためには、販売する農産物の単価を高くする、確実に売れる農産物の生産量を増やす、生産コストを下げる、という三つの要素が重要になります。今回は、上半期に取り組みました仕入れの強化や物流コストの見直しによる生産コスト低減対策の状況を報告いたします。

| | 取り組み内容 | 種類ごとの変更内容 |
|---|---|---|
| 肥料 | ◆取扱量の多い2品目について、メーカー直送による物流コストの削減 | 燐加安555…▲50円 |
| | | ジシアン有機化成特806号…▲60円 |
| | ◆外国産の肥料の取り扱いについて検討 | 港から直送によるコスト抑制も可能となるため、8月19日にO商事と交渉し、燐加安555と同等品を検討 |
| 農薬 | ◆全農と商系業者との競合 | スクミンベイト（スクミリンゴガイ用）　通常価格…▲75円 |
| | ◆除草剤を8月4日から10日間、キャンペーン価格で販売 | ラウンドアップマックスロード500ml・2L…▲130円、5.5L…▲1,080円 |
| | | プリグロックス1L…▲230円、5L…▲1,200円 |
| | | バスタ液剤 500ml…▲50円、2.2L…▲210円 |
| | | サンダーボルト007 500ml…▲130円、2L…▲290円、5L…▲1,080円 |
| 資材 | ◆県内JAが全農に結集し、共同仕入れを行うことによって、低価格商品（サンテーラ）の取り扱いを開始 | 既存品との比較で、黒マルチ95・135・穴あり9230を▲580～▲590円で販売開始 |
| | ◆直売向けの出荷資材を9月4日から10日間、キャンペーン価格で販売（下半期計画） | 野菜ボードン袋…▲150円～▲190円（7品目、ケース売りが対象） |
| | | フラワーパック…▲50円～▲55円（3品目、パック売りが対象） |
| | | たばねらテープ…▲250円（3品目、ケース売りが対象） |
| | | バックシーラーテープ…▲160円（2品目、ケース売りが対象） |